「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

　　　　　　　　　日時　　平成28年7月19日（火）9:00～11:10

　　　　　　　　　場所　　松江市立来待小学校

　　　　　　　　　対象　　生徒　　　5名

　　　　　　　　　指導者　教職員　　2名

　　　　　　　　　　　　　埋蔵文化財センター職員　1名

１．主題　　　縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食作り体験～

２．ねらい

　○古代の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。

　　○古代食作りの体験を通して、古代人の食生活の様子について知り、古代人の生活への理解を深める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 　　　　学習活動 | 指導者の支援・配慮事項 | 分担 |
| 5分15分10分60分20分15分5分 | 今日の学習の流れを確認しよう縄文時代や弥生時代の人々の生活について知ろう（教室）・縄文・弥生時代が今からどれくらい前の時代かを確認する。・どのような食べ物を食べていたのかを知る。休憩古代食作りに挑戦しよう（調理室）　・赤米の炊飯　・どんぐりハンバーグ作り　・炊飯の時間を利用して火起こし体験をする。古代食を試食しよう（調理室）片づけをする。感想を発表する。（教室） | ・講師の紹介をする。・学習の内容やねらいを説明する。・指導者がパワーポイントなどの視覚的教材を使って生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。エプロンを着て移動・古代食の炊飯方法、どんぐりハンバーグのつくり方について説明する。・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。 | 教科担当職員職員教科担当全員 |

※準備するもの

（学校・生徒）　　パソコン、プロジェクター、長机、調理器具、食器、食材（生もの）

　　　　　　　　　エプロン、マスク、筆記用具

（埋文センター）　食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、火起こしセット

アンケート用紙等